



杉並区立西田小学校

Community School / Nishita Elementary School



第3号
2019.7

学校運営協議会だより

西田小学校は学校運営協議会が設置され、平成29(2017)年10月1日から地域運営学校(コミュニティ・スクール)になりました。

本年新たに入学された児童の保護者の皆様、進級された児童の保護者の皆様にご挨拶申し上げます。

1 学校運営協議会

学校運営協議会会長 諏訪 哲郎

日本に学校教育制度が生まれたのは1872年。間もなく150年が経過します。国が学校を作ってすべての国民に教育を受けさせようとしたのは、国家に有意な人材が大量に必要としたからでした。その学校教育制度が、今、大きく変わろうとしています。そのことを象徴するのが、新しい学習指導要領の前文に記された「社会に開かれた教育課程」と「持続可能な社会」という言葉です。特に、少子高齢化で人口減少が始まった地方では、地域社会の持続可能性が大きな課題となっており、学校を軸にした地域の活性化が求められています。従来から学校は地域の方々に支えられて運営されてきました。しかし、今、それをさらに前進させて、地域とともにある学校を作ることを文部科学省も目指しています。元気な子供たちを育むために地域の人たちが協力するとともに、地域も学校運営に関わることで活気づくことをねらっています。そのため各学校に設けられた組織が学校運営協議会です。私たち西田小学校の学校運営協議会は、西田小学校を取り巻く地域と学校との関係をより緊密なものにする活動に取り組んでいくつもりです。

2 地域運営学校「西田小学校」

校長 鈴木 朝代

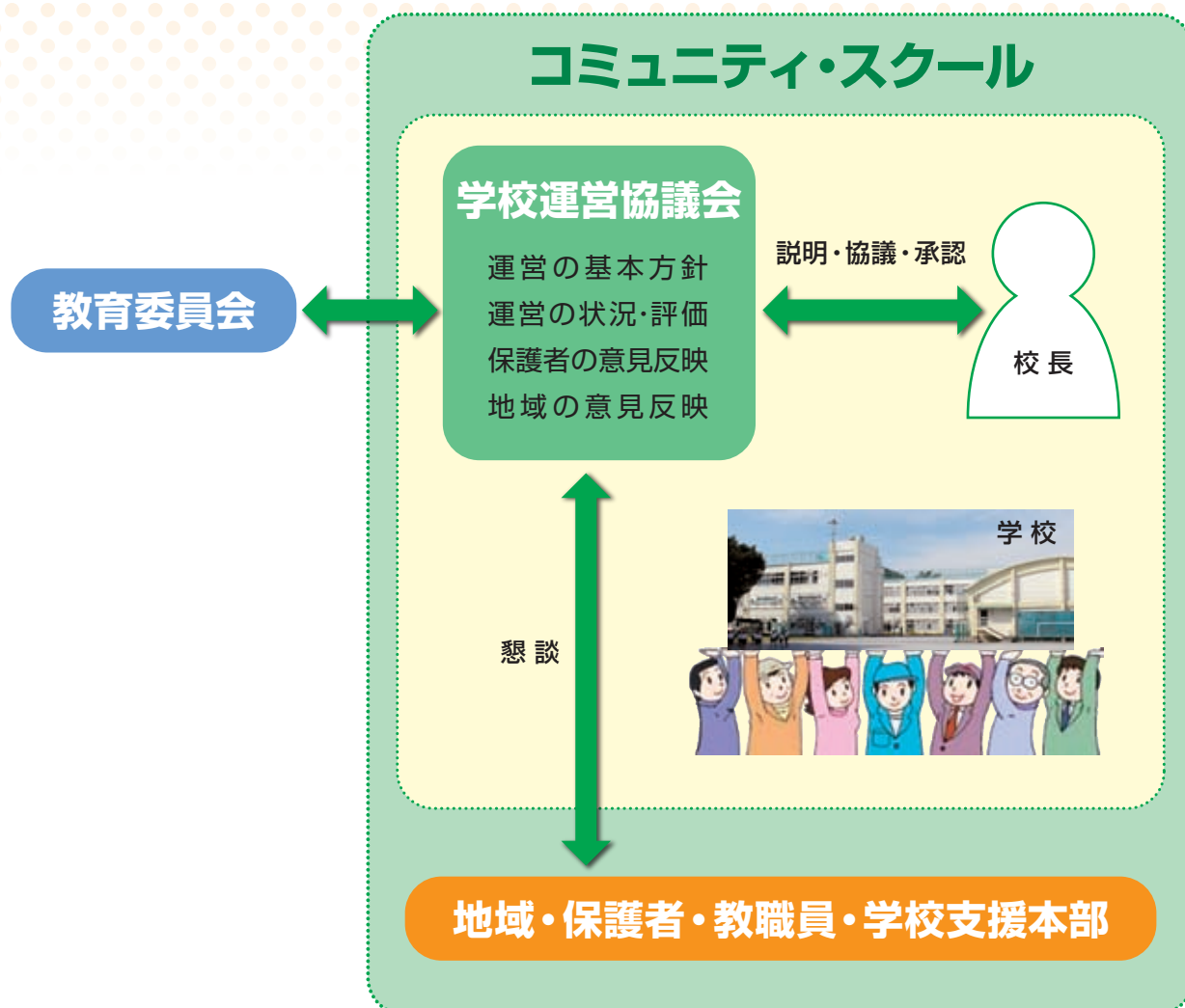
今年度から、西田小学校校長を拝命しました鈴木朝代です。西田小には2度目の着任となりました。1度目は、ちょうど昭和から平成になった年に、この度は、平成から令和になる年の着任となりました。時代が変わる瞬間に同じ西田小学校で勤務を開始することになるとは、何か深い縁を感じざるを得ません。

学校運営協議会の営みは、まさに、地域社会に開かれた学校づくりには欠かせないものとなりました。子供たち一人一人が、西田小学校で学べてよかったと思えるよう、教職員一丸となって尽力してまいります。そして、学校運営協議会委員の皆様、保護者、地域の皆様と共に、ユネスコスクールとしての西田小学校をより良い学校にしていきます。

3 地域運営学校（コミュニティ・スクール）とは

地域運営学校は学校運営協議会を設けている学校です。

西田小学校には平成29年(2017)年10月に学校運営協議会が設けられました。



4 学校運営協議会とは

保護者や地域住民などが教育委員会、校長と責任を分かち合いながら、当事者として学校運営に参画するための仕組みです。学校運営協議会は学校運営の基本方針を承認することや、学校運営や教育活動に対して意見を述べることができます。この仕組みにより学校運営や教育活動に家庭・地域の意向が的確に反映され、子供たちにとってより良い教育環境を作っていくことができます。

学校運営協議会の委員は校長および地域住民や保護者と学識経験者などから構成されています。

西田小学校運営協議会は地域の皆様方と共に「より良い学校」を目指します。
ご協力・ご支援をお願いいたします。



会長 諏訪 哲郎

宮崎県生まれ
学習院大学教育学科教授
日本環境教育学会会長
日本をリードする地域運営学校
西田小に…！



校長 鈴木 朝代

広島県生まれ
杉並区立西田小学校校長
西田小学校に集う全ての人々が
夢を実現できる学校に！



委員 武井 成浩

杉並区生まれ
昭和56年西田小学校卒業
税理士
微力ですが貢献できるよう頑張りたい
と思います。



委員 半澤 豊子

長野県生まれ
杉並区30年在住
西田小学校支援本部長
ニシタス地域コーディネーター
子供たちと地域を笑顔で繋ぐお手伝い
をしています。



委員 目黒 由美

中野区生まれ
杉並区青少年委員
杉並区20年在住
子供たちの健全育成ため、地域の皆様
と共に活動しています。



委員 渡邊 麗

北海道生まれ
民生主任児童委員
ニシタス地域コーディネーター
我が子3人が学んだ西田小。私自身も
たくさんのかを学びました。子供た
ちのため、自分に何ができるかを探し
ながら恩返しの方です。



会長職務代理 成田 喜一郎

練馬区生まれ
自由学園副学園長
専門：ホリスティック教育/ケア学
創作叙事詩人「寺澤満春」でもある。
繋がり、釣合い、包み込み続けよう…！



委員 恵羅 博

山口県生まれ
文教大学情報学部教授
松溪自治会会長
皆が幸せな小学校時代となるよう尽力
します。



委員 中澤 一郎

杉並区生まれ
昭和31年西田小学校卒業
西田小学校同窓会会長
多くの子供とのふれ合いを大切に…！



委員 檜枝 光太郎

杉並区生まれ
昭和30年西田小学校卒業
立教大学名誉教授
荻窪地域区民センター協議会委員
一人一人の個性が輝く学校に…！



委員 望月 航二郎

杉並区生まれ
松溪中学校評議委員
西田野球クラブ指導者
児童のために先生、保護者、地域、運
営協議会委員が1つの輪になって…！



委員 山内 玲香

愛知県生まれ
PTA会長
微力ながら、西田小の子供たちのため
に自分ができることをしていきたいと
思います。

西田小学校の
子供たちのために

ユネスコスクールの
継承を

地域と共にある
学校づくり

4月16日(月) 第1回 学校運営協議会 開催

主な議事

- 1 新年度になり異動などもあったことも含め、教員と運営協議会委員の相互紹介。
- 2 平成30年度学校経営グランドデザインについて校長から説明。
 - ・保護者への説明は2学年ごとに行なった。
 - ・協議会委員からNIE(Newspaper in Education:教育に新聞を)を今年もやる希望提出。
 - ・SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)を教育に取り入れる方向について。
- 3 学校運営協議会の活動方針について。
 - ・学校行事の日程に合わせて進めることで1年間の流れ(案)を策定。
 - ・保護者に運営協議会を知ってもらう活動。
 - ・教員との懇談。
 - ・児童とのお話会や給食会の検討。

5月21日(月) 第2回 学校運営協議会 開催

主な議事

- 1 会長挨拶と校長挨拶
 - (1)「持続可能な社会づくりに向けた教育についてのアンケートを見ると素晴らしい成果が上がっており、特に学年が上がるにつれて顕著である」との諏訪会長の感想があり、更に伸ばしてSDGsにどうつなげていくか、検討していく必要があるとの提言があった。
 - (2)前述の会長の話のあと、校長からは「社会科教員の集まりでもESDが話題になるようになったがSDGsの認知は十分ではないようである。しかしユネスコスクールNISHITAを充実して杉並・全国のモデルにしたい。」との話があった。
- 2 平成30年度の運営方針について
 - ・ESDをどのように取り入れて推進していくかについて協議と審議が行われた。
 - ・教員との懇談会は6月20日の校内研究会と同時に開催。諏訪会長のESD講演につづきワークショップを行う。

6月18日(月) 第3回 学校運営協議会 開催

主な議事

- 1 校長より報告。
 - (1)関東甲信越地区小学校校長会研究協議会長野大会で西田小学校の取組を発表した。
 - (2)6月28日に行われるPTA運営委員会で諏訪会長が挨拶と学校運営協議会の紹介を行い、9月27日に行われるPTA運営委員会において保護者と懇談する方針を決め、調整をお願いする。

6月20日(水) 校内研究授業と研究協議会の後、16時30分から諏訪会長を講師にして研修会を行う。教員と運営協議会委員の懇談と交流を図った。

6月28日(木) PTA運営委員会にて諏訪会長が挨拶して学校運営協議会の紹介を行った。

7月9日(月) 第4回 学校運営協議会 開催

主な議事

- 1 6月20日 研究授業で「世界を見直して環境を考えよう」を5年生の子供たちの視点から環境問題を取り上げて発表された。授業を見学。
- 2 研究授業を受けて校内研究会が行われ教員の中に協議会委員も入り、振り返りを行った。いろいろな意見があり、今後も継続させていきたい。その後に諏訪会長による「SDGsターゲット4.7」の研修が行われたとの報告。テーマは「西田小の子供がもっと生き生きとするためにどうすれば良いか」であった。

8月27日(月) 第5回 学校運営協議会 開催

主な議事

1 会長挨拶

- ・自分が会長をしている日本環境教育学会で8月25日に小堂校長が「ユネスコスクール NISHITA のホールスクールアプローチ2年の歩み」を発表した。
- ・SDGsカードゲームに関する会合に、新井副校長引率で3名の生徒が参加。西田小の児童は感想で素晴らしい発表をした。学力向上の成果が上がっていると感じた。

2 校長より報告

- ・会長挨拶のとおり日本環境教育学会で発表した。
- ・日中韓環境教育交流で中国に出張して西田小の取組を発表した。
- (1)保護者との懇談会をPTA運営協議会にあわせ9月27日に開催することとした。
- (2)学校支援本部の課題や持続性についてさまざまな観点から話し合う。
- (3)12月6日(木)「ユネスコスクールNISHITAの挑戦」研究発表会の案内を受けた。

9月27日(木) PTA運営委員会との懇談会

終了後、学校運営協議会の委員9名が参加して、PTA15名との懇談会を実施した。6箇所のワークショップ形式で学校について・教員・保護者・地域が取り組むべき課題、要望など、下記6項目について率直な意見が交わされた。運営協議会の役目についてもユネスコスクールの活動や学校行事・子供の居場所・教員との関わり・PTAとのつながりをもつことなどであることを認識した。このような懇談会がより多くの保護者と継続的に行われたらよいとの意見が多く、成果がみられた。

- ① CSとは何か
- ② 西田フェスティバルの自主開催の可能性
- ③ 子どもの遊び場?遊び時間?校庭の使い方
- ④ 教員は多忙、学校行事に積極的な協力が必要では
- ⑤ PTAの在り方
- ⑥ 家庭での教育、学習



以上の報告は運営協議会だより第2号にて既に発表されていますが、新たに入学された保護者の皆様に紹介させていただくものです。

10月15日(月) 第6回 学校運営協議会 開催

主な議事

PTA 懇談会を行った結果について新井副校長から報告。

＜協議会委員から以下の意見が出た＞

- ・PTAの方と良い話し合いができたので、今後もこのような懇談を行いたい。
- ・グループによって話し合いの内容は違っていった。
- ・学校運営協議会について、委員が直接説明できたのは良かった。
- ・学校に対する不安の解消やPTAの掘り起こしがとしても機能した話し合いであった。
- ・校庭指導員等をおいて校庭開放を積極的に行うという意見があったが、現状は小学生の

利用は極めて少ないとの指摘があった。

- ・西田フェスティバルが今年度で終了して来年度は行われないのは残念という声が多くあったので、どのようにすれば再建できるか少人数の委員で検討したらどうか。
- ・PTAの中心になっている人でも、これまでの経過を知らないので、PTAの理解度をあげるパイプ役が必要。
- ・学校支援本部が調整を行っている外部講師に関して議論があった。

11月10日(土) 第7回 学校運営協議会 開催

学習発表会が開催され観劇した。

主な議事

1 会長挨拶

学習発表会では、全児童に役割を与えて参加させている教員の努力と児童の元気な姿を感じた。

2 学習発表会を見学した協議会委員の感想と評価

- ・素晴らしい内容であった。
- ・準備にかけた時間とシナリオの準備に関して質問があり、新井副校長から以下の説明があった。2～3週間前から特別時間割を組んだ。2週間前から体育館と視聴覚室を割り当てた。それより前に準備を始める学年もあった。学習発表会の準備に時間を使いすぎないように注意している。シナリオについては、6年生は自分たちで作ったオリジナルなものである。皆で原稿を練り直して台本・演出係を決め、オーディションで出演者を決めた。演技をする児童以外に舞台に立たない音響係、映像係などもいる。5年生は教員がシナリオを作った。
- ・学年ごとなので、複数のクラスを教員が束ねる必要があり大変だろう。
- ・児童も大変だと思うだろうが、楽しみでもあり成長の機会でもあるので大切。
- ・保護者は見るのを楽しみにしている。
- ・戦後に始まった学芸会は古くなり現在では必要ないのではないか、ESD発表会のほうが学習発表会にふさわしいと考える教員もいると紹介されたのに関連して、以下の学習発表会が大切とする意見が出た。舞台は学んだものが集約される創造的な文化の体験となるので、他では得られない学びがある。皆で協力して作り上げる体験は他では得られない貴重な体験である。
- ・忙しい教員の本音かもしれないが、大勢の前で大きな声を出す経験は大切である。
- ・支援本部が外部講師を呼んで3年生の学習発表会の支援をした。台本は9月15日にできていて、読み込み、オーディションと進んでいった。外部講師は演劇が楽しいことを伝えようとしていた。
- ・本日の発表会を次の三つの視点で見た:大きな声を出しているか、仲間の声を聴いているか、仲間と合わせようとしているか。
- ・5年生は授業で学んできたことを発表した。これが正しい学習発表会と思う。
- ・ESDの最近のトレンドとして、ソーシャルとエモーショナルの二要素が重視されている。両者は二者択一でなく両方とも必要。
- ・古いものでも現代的な価値があるものもある。伝統的な日本の学校の特別活動(学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事)は海外から高い評価を受けている。20年にドイツから視察に來たし、現在はアフリカで注目されている。守破離(しゅはり)はシリコンバレーで注目されている。古いものでも新しい現代的な価値があるものもあるので、もう一度見直したほうが良い。
- ・演劇には二つの演劇があり両方とも意味がある。一つは舞台での発表、もう一つは作るプロセスの出来事を演劇とみる。

3 給食の体験を行った。

12月17日(月) 第8回 学校運営協議会 開催

主な議事

- 1 会長挨拶
 - ・職務上いろいろな小学校を見ているが、学校のレベルの差が広がっていると感じる。意欲のある校長・副校長等の管理職集団がいる学校では、新しい教育を意欲的に取り込んでレベルが上がっている。そうでない学校は旧態依然の教育を続けて停滞している。成功事例として、秋田県大館市立花岡小学校と山梨県北杜市立須玉小学校の取り組みが紹介された。
- 2 校長挨拶
 - ・西田小の取組は先進的であるがゆえに、外部には十分理解されていないと感じている。西田小の当たり前と他校の当たり前が良い意味で違ってきている。12月15日に行われた「すぎなみ教育シンポジウム」の成田喜一郎先生のお話に出された質問でかみ合っていないものもあった。ESDという言葉さえ他校では十分理解されていない傾向があるので、ユネスコスクール西田小がもっと発信する使命があると思っている。
 - ・西田小のトワイライトミュージアムや西田の丘フェスなどの実践は他校から驚かれる。これらは、従来の発想を転換して実現できた。西田小の学校運営協議会は発足して1年余りだが、委員のみなさんと一緒に議論し考えながら学校運営をできていることを嬉しく思う。
- 3 副校長から教育調査についての説明がなされた。
- 4 桃井第四小学校で行われた6年生全員が参加する学校運営協議会「学校を面白くする会議」について、参加した望月委員から報告があった

1月28日(月) 第9回 学校運営協議会 開催

「教育調査」結果の報告には保護者代表の参加が求められているためPTA山内会長が出席した。

主な議事

- 1 会長挨拶
 - 教育調査結果の報告についてしっかりと議論をする旨挨拶があった。
- 2 30年度杉並区「教育調査」並びに「よりよい学校づくりアンケート」校長から報告があり、報告に対する考察と協議を行った。
【教育調査に関して(協議)】
 - (1)校長から＜保護者の調査結果について＞＜児童の調査結果について＞＜教員の調査結果について＞など、それぞれ説明がされた。
 - ・特別支援教室の理解、いじめの問題、体力向上への取組、小中連携の課題などについて協議会として協議した。
 - ・山内PTA会長から以下の発言があった。PTAに積極的にかかわると学校のことがある程度分かるが、そうでない一般の保護者にはよく分からない。この協議会や同窓会などの地域の人が学校に積極的に関わっていることをもっと発信すれば、保護者もっと西田小に協力的になると思う。

2月23日(土) 第10回 学校運営協議会 開催

主な議事

- 1 会長挨拶
 - ・本日午前中のESD子供報告会は素晴らしかった。
 - ・去年も参加したが、今年は発表力が確実に向上していた。積み重ねが大切だと感じた。
- 2 ESD子供報告会に参加して(協議)
 - ・他校の発表会に参加したが、児童の質問が児童ではなく先生に向かっていたが、西田小ではそのようなことはなく、しっかりできていた。
 - ・児童の半分が聞き役となり、聞き手として積極的に参加していたのが印象的であった。
 - ・一般論でなく自分の問題として具体的に取組んだ内容の発表で、話が広がらなかったのが良かった。

- ・学年が上がるとテーマがだんだんと大きくなっていた。高学年はテーマが大きすぎる気もした。
 - ・テーマは学年ごとに変わっているが、同じテーマを次の学年にもちあげて深める方法もあるだろう。
 - ・掲示物を見ると、自分の意見を紙に書いて貼ってあった。短い文章で自分の思いを伝える機会はないので、とても良い訓練になったと思う。大人になっても役に立つ訓練である。
 - ・支援本部が紹介した外部講師の名前が紹介されていて、情報源が明示されていたのは良かった。
 - ・子供たちは議論する習慣をESDの中で身に付けたので、それを家庭にもち帰り、家庭内でも議論の習慣がつくと良い。
 - ・ESD発表会に3回参加したが、これまでの3回で確実に進化している。
 - ・濱元主幹教諭から、報告会は1年間を通して学んだことを発表する場だが、発表会の準備を始めた時点からの調べ学習の発表になりがちになるとの発言があった。
 - ・5年生のテーマは環境だが、6年生は平和がテーマとなる。そのため、報告会が終わると5年生の環境に関する関心はしぼんでしまう課題があるとの発言があった。それに対して、SDGsの視点から全体を関係付ける場を設けると良いとの助言があった。
 - ・校長から、教員が頑張った結果だと思うし、教員の成長を実感したとの発言があった。教員が児童に任せることができるようになったという意味で、教員も児童も成長したのだと思う。
 - ・自由学園初等部の先生10名が参加した。
- 3 平成31年度教育課程について(協議)
- ・濱元主幹教諭から昨年度からの変更点を中心に説明があった。英語のインプットの機会は増えてきているが、アウトプットの機会がほとんどないのでその機会を作ることを来年度の新しい取組とした。具体的には「西田英語村」と近隣のネパール人学校との交流を計画しているとの説明があり、了承された。なお、「西田英語村」等については議案の中で詳しい説明があった。

3月20日(水) 第11回 学校運営協議会 開催

主な議事

- 1 会長挨拶
平成30年度の最後の運営協議会となった。1年間の活動を生かし、次年度もよろしくとの挨拶があった。
- 2 小堂校長から保護者に配布された「平成30年度杉並区教育調査」および「西田小よりよい学校づくりアンケート」集計結果について報告がなされた。
- 3 卒業式と入学式の日程について連絡。

発行：杉並区立西田小学校運営協議会

東京都杉並区荻窪 1-38-15 西田小学校内 TEL：03-3392-6828

西田小学校ホームページ：<http://www.suginami-school.ed.jp/nishitashou/>